

第30回 2017年度

# 人権啓発東京講座

【主催】 一般社団法人 部落解放・人権研究所  
【後援】 部落解放同盟中央本部  
公益社団法人 全国人権教育研究協議会  
『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議  
東京人権啓発企業連絡会  
東日本部落解放研究所  
一般財団法人 松本治一郎記念会館

## 人材開発支援助成金について

この制度は、厚生労働省の制度で、企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進のため、目標が明確化された職業訓練の実施、職業能力開発休暇の付与、長期教育訓練休暇制度の導入、職業能力評価の実施またはキャリア・コンサルティングの機会を確保を行う事業主に対して助成する制度です。制度の詳細については、厚生労働省・都道府県労働局にお問い合わせください。

ホームページ <http://www.mhlw.go.jp>

## 講座内容

もしかして、あなたの人権感覚はズレてる？

21世紀は「人権の世紀」です。今一度、あなたの人権感覚をみがいてみませんか。

### ◎多様性あふれるテーマ、充実の講師陣！

様々な人権問題を取りあげている基礎講座です。各分野の第一線で活躍している総勢 23 名の人権スペシャリストたちの講義は、問題の基本を押さえつつ、最先端の話が聞ける貴重な経験です。

### ◎体験と交流をとおして、ゆたかな人権感覚を！

3カ所の現地学習（フィールドワーク）や体験学習（ワークショップ）、班ごとのふりかえり（グループディスカッション）等をとおして問題意識を深め、ゆたかな人権感覚を目覚めさせます。

### ◎あなたも人権リーダーに！

講座修了後には、あなたの人権感覚は、きっと生まれ変わっていることでしょう。講座で学んだことを職場や暮らしの中で大いに役立ててください。

定員 50名（先着順）

受講料 150,000円 + 消費税

- 教材費、宿泊研修費を含みます。
- 現地学習および宿泊研修での交通費は含みません。

※聴講可能な講座もあります（受講料 3,500円 + 消費税）。詳しくは問合せ先 事務局までご連絡ください。

## プログラム

	午前 9:30～11:30	午後1 12:40～14:40	午後2 15:00～17:00
第1日目 9月28日 (木)	開会式	【基調講演】 立憲主義と人権保障 小林 節 <span>聴講OK</span>	【ジャーナリズム】 写真で伝える世界、東北の今 安田菜津紀 <span>聴講OK</span>
第2日目 9月29日 (金)	【マジョリティ】 マジョリティの特権を考える 出口真紀子 <span>聴講OK</span>	【部落】 現代の部落問題 内田龍史 <span>聴講OK</span>	【メディアと人権】 SNS時代、今や貴方も発信者 下村健一 <span>聴講OK</span>
第3日目 10月3日 (火)	(移動)	宿泊研修 講義・フィールドワーク(長野)	
第4日目 10月4日 (水)	宿泊研修 講義・フィールドワーク(長野)	【見た目問題】 見た目の症状とともに自分らしく生きる 外川浩子	(移動)
第5日目 10月12日 (木)	現地学習 講義・フィールドワーク(ハンセン病資料館と当事者の語り)		
第6日目 10月13日 (金)	【医療事故】 うそをつかない医療 豊田郁子 <span>聴講OK</span>	【HIV】 日本のHIV・エイズの“いま” 高久陽介 <span>聴講OK</span>	【子どもの人権】 虐待や貧困から見える日本の子どもたちの 現状 森山誉恵 <span>聴講OK</span>
第7日目 10月30日 (月)	【国際問題】 先進国と発展途上国 佐藤 慧 <span>聴講OK</span>	■ワークショップ■ 人権って何だろう？ ～「私」と「あなた」を起点に～ ファシリテーター:若柳 翼	
第8日目 10月31日 (火)	【部落】 日常の中の部落差別 上川多実 <span>聴講OK</span>	【在日問題】 ヘイト・スピーチって何？ 金 尚均 <span>聴講OK</span>	【LGBT】 LGBT(性的マイノリティ)も働きやすい 職場とは？ 薬師実芳 <span>聴講OK</span>
第9日目 11月14日 (火)	【部落】 部落に生まれて、部落に育つ 組坂繁之 <span>聴講OK</span>	現地学習 講義・フィールドワーク(東京)	
第10日目 11月15日 (水)	【薬害】 薬害が語る、社会正義のありようとは？ 増山ゆかり <span>聴講OK</span>	【犯罪被害】 性犯罪被害者の実情 小林美佳 <span>聴講OK</span>	【ホームレス】 「ホームレス」襲撃事件と子どもたち 北村年子 <span>聴講OK</span>
第11日目 11月29日 (水)	【ハラスメント】 職場のハラスメント問題を考える 内藤 忍 <span>聴講OK</span>	【企業経営と人権】 変化する内外情勢をふまえて 北口末広 <span>聴講OK</span>	【障害者】 障害者の自立 熊谷晋一郎 <span>聴講OK</span>
第12日目 11月30日 (木)	【職場の人権研修】 職場を元気にする人権 竹内 良 <span>聴講OK</span>	人権研修プランづくり & プレゼン 【総括講演】 人権で世直し 奥田 均 <span>聴講OK</span>	

※各日、講義終了後(17:00-17:30)にふりかえり(グループディスカッション)を行います。ふりかえりまで必ずご出席ください。

※第8日目(10月31日)および最終日(11月30日)は、講義終了後に懇親会を予定しております。

## 現地学習／宿泊研修



国立ハンセン病資料館

### ハンセン病を知る

東京都東村山市の東北端にある国立療養所多磨全生園。隣接する国立ハンセン病資料館は、他に類を見ないほど充実した資料をもとに、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発による偏見・差別の解消と、患者・元患者のみなさんの名誉回復をめざしています。現地学習では、ハンセン病の歴史を学び、実態と向き合います。



産業・教育資料室 きねがわ

### 部落問題を知る 東京（現地学習）／長野（宿泊研修）

フィールドワーク（皮革なめし工場見学など）や当事者の語りから、部落差別の歴史と現状を学びます。現実を知り、正しい知識を得るとともに、偏見や差別のない社会づくりについて考察を深めます。協力：産業・教育資料室 きねがわ／部落解放同盟東京都連合会 墨田支部／人権センターながの

## 講師紹介



こばやし せつ 節 慶應義塾大学名誉教授、弁護士

憲法は権力から国民を守るためにあります。人権を侵害しないよう国家権力を縛っているのです。しかし、現実はどうでしょうか。私たちにとって憲法とは何か、今こそ、一緒に考えましょう。



しもむらけんいち 下村健一 白鷺大学客員教授 (元 TBS 報道キャスター／内閣審議官)

SNSの発達で、今やあなた自身もメディアです。他人事ではありません。被害者、加害者、遺族、被差別者…の人権を守りつつ、過剰にビビって腫れ物に触るような逆差別もせず、フラットな発信できますか？



やすだ なつき 安田菜津紀 フォトジャーナリスト (studio AFTERMODE 所属)

「シリア」と聞いて、何を思い浮かべますか。激しい戦闘、あふれだす難民。けれど、もともと「難民」だった人はいません。世界情勢から東日本大震災の被災地、陸前高田市まで、ファインダー越しに向き合ってきた人々の生きる姿を、みなさんと共有したいと思います。



とがわひろこ 外川浩子 「見た目問題」解決 NPO 法人マイフェイズ・マイスタイル代表

想像できますか。見た目が重視される現代社会の中で、生まれつきのアザ、事故や病気による傷、火傷、脱毛などの見た目の症状とともに自分らしくいきいきと生きている人たちがいることを。



でくちまきこ 出口真紀子 上智大学外国語学部准教授

マジョリティ(多数派)は劣することなく得た優位性を持っていて、心理学では「特権」と呼びます。しかし、マジョリティ側は自分には特権があるという認識が欠けていて、社会的抑圧の現実を否定するか見ないようにしがちです。みなさんはいかがでしょう。



とよだいくこ 豊田郁子 患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人架け橋理事長

一昨年 10 月、医療事故調査制度が施行され、日本の医療安全は新たなステージへと進みました。「うそをつかない」「情報を開示する」「ミスがあれば謝罪する」この三原則を病院の文化として根づかせ、患者と医療者のパートナーシップを作っていくことで、医療事故をめぐる苦しみを少しでも減らしていきたい。それが、医療事故で子どもを亡くした私の願いです。



うちだりゅうし 内田龍史 尚絅学院大学総合人間科学部現代社会学科准教授

部落問題とはいったい何なのか。部落差別は今でもあるのか。各種のデータを示しながら、部落問題の全体像と現状をお伝えします。私たちは部落問題とどう向きあえばいいのか、一緒に考えましょう。



たかくようすけ 高久陽介 NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス代表理事

「HIV」「エイズ」と聞いて、どんな印象を持ちますか。なんとなく恐怖を感じた方、外国の話でしょ？と思った方は、必聴です。日本には、すでに 2 万 5 千人の HIV 陽性者（感染が分かった人）が暮らしています。

# 講師紹介



**もりやまたか 森山誉恵** NPO 法人 3keys 代表

1年間で日本で対応している児童虐待件数は約10万件。周りに相談できる人が誰もいない子どもは5人に1人。愛される環境、教育を受ける環境、悩みを打ち明ける環境、目標や夢を持てる環境などが保障されない子どもたちの存在と、その背景にある親や社会の現状について、考えてみませんか？



**さとう けい 佐藤 慧** フォトジャーナリスト (studio AFTERMODE 所属)

先進国の生活を保つための必要なものを供給する為に、実は地球の裏側で圧倒的に搾取されている人がいます。普通の生活をしているだけで、誰かがそこに不幸になっていくという現実があります。あなたは这个世界で本当に幸せに生きられるのでしょうか？



**わかやなぎ つばさ 若柳 翼** 教育研修デザイナー、プロコーチ

このコマは、参加型研修の時間です。一方通行の講義ではなく、身体や頭を使って「人権」や「差別」を考えていきます。背伸びせず、自分ごととして人権を捉える機会を共に作りましょう。



**かみかた み 上川多美** BURAKU HERITAGE メンバー

部落差別は昔の話？ 西日本の話？ 自分には関係のない世界のこと？ いやいや、実は身近なこともかもしれない、実は自分も加担しているかもしれない、そんな視点から、部落差別について考えてみませんか？



**きむ しんご 金 尚均** 龍谷大学法科大学院教授

ヘイト・スピーチとはなにか？ 名誉毀損・侮辱と何が違うのか？ どうしてヘイト・スピーチという英語を用いるのか？ 外国ではどのように規制されているのか？ これらの疑問を通じて、ヘイト・スピーチの「害悪」と「被害」の実態とその内容を知る。



**やくし みか 薬師美芳** NPO 法人 ReBit 代表理事

LGBT (性的マイノリティ) は日本人口の7.6%、約13人に1人と言われています。職場における理解の有無は、やりがいや生産性に影響するという調査も。LGBTの社員にとっても働きやすい職場づくりのために今日から取り組めることをご紹介します。



**くみかしげ つよし 組坂繁之** 部落解放同盟中央本部執行委員長

福岡県の被差別部落に生まれ育ち、そのムラではじめての大学進学を果たす。海外移住を夢みだが果たせず、親友の自死等で自らの足でしっかりと生き抜く大切さを学ぶ。やがて、部落解放運動に入り、部落解放同盟中央本部執行委員長になったひとりの男のドキュメント。人間、組坂繁之を語る。



**ますやま ゆかり 増山ゆかり** 公益財団法人いしずえ (サリドマイド福祉センター) 常任理事

サリドマイド薬害から50年が経ちましたが、その後もHIV、スモン、C型肝炎など、日本では薬害が繰り返されています。経済主導の社会構造が多発する薬害の背景にあると言われてはいますが、あなたは薬害について、いま何を知っていますか？



**こばやし みか 小林美佳** 『性犯罪被害にあうということ』 著者

性犯罪の被害者は、何があったのかをすぐには説明できません。もし皆さんが被害にあったら誰に言いますか。自分だったら聞けるとは思いますか。また、性犯罪被害に対しては犯罪被害者支援のための制度がほとんど使われていません。その理由も一緒に考えていただけたらと思います。



**きたむらとしこ 北村年子** ノンフィクションライター、(一社) ホームレス問題の授業づくり全国ネット代表理事

「どうしてあんなところに人が寝ているの？」子どもの疑問にアナタはなんと答えますか？ 大人から植え付けられた偏見によって起こる「ホームレス」襲撃。大人は「ホームレス」とどのように向きあい、子どもたちに伝えればいいのか。疑問を丁寧に解きほぐします。



**うちだ しのぶ 内藤 忍** 独立行政法人労働政策研究・研修機構副 主任研究員

セクハラ、パワハラ、マタハラ、アカハラ、アルハラ…世の中はハラメントであふれるようになってしまいました。何が法律違反で、何が倫理上いけないレベルのハラメントなのでしょうか。一緒に考えましょう。



**きたぐち すえひろ 北口末広** 近畿大学人権問題研究所主任教授

人口変動や科学技術の進歩にともない社会が大きく変化し、人権問題をはじめとする社会的課題も大きく変動している。そうした中で社会的課題の解決に向けた企業の役割がますます高まっている。こうした視点で今後のビジネスと人権について考えていきたい。



**くまがやしんいちろう 熊谷晋一郎** 東京大学先端科学技術研究センター准教授

「自立」とは、依存しなくなることだと勘違いされていますが、そうではありません。「依存先の数を増やしていくこと、薄く広く依存すること」こそが、自立なのです。これは障害の有無にかかわらず、すべての人に通じる普遍的なことだと、私は思います。



**たけうち りょう 竹内 良** 東京人権啓発企業連絡会顧問

企業の行う人権研修は、成人研修であり企業人研修です。差別はいけないことと、みんな分かっています。この「分かっている」ことをもう一度考えたいのです。あ、そうか、と思わず膝打つ研修ってなんだろう、人権ってなんだろう。



**おくだ ひとし 奥田 均** 近畿大学人権問題研究所教授、(一社) 部落解放・人権研究所代表理事

差別はいけないと思います。でもそうした問題がどうして私たちに関係しているのでしょうか。実は案外、深く関わっているのですよ……。

## 過去受講生を派遣された組織

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、あおぞら銀行、朝日生命保険、味の素、味の素ゼネラルフーズ、アメリカンホーム医療・損害保険、安藤・間、イオン、イオンモール、イトーヨーカ堂、イトキン、IMAGICA、EMGマーケティング、エクソンモービル、エーザイ、NEC、NECソリューションイノベーター、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTソコム、NTTデータ、NTT都市開発、NTTドコモ、NTTビジネスアソシエ、NTTファシリティーズ、荏原製作所、大内新興化学工業、大林組、オムロン、オリエンコーポレーション、学研ホールディングス、学研プロダクツサポート、関西ペイント東京工場、関電工、関東電気保安協会、かんぽ生命保険、共栄火災海上保険、協同セミナー、清原住電、キリン、キリンホールディングス、近畿日本ツーリスト、クラシエ、栗田工業、群馬銀行、京成電鉄、京浜急行電鉄、原子燃料工業、航空電子ビジネスサポート、コスモエネルギーホールディングス、コスモ石油、コスモビジネスサポート、小林製薬、五洋建設、コロムビアミュージックエンタテインメント、佐川急便、佐藤工業、三菱、産業振興、資生堂、資生堂化粧品販売、清水建設、自治労、蛇の目ミシン工業、JXエネルギー、JFEスチール、商工組合中央金庫、商船三井、城北信用金庫、昭和大学、昭和電工、信越エンジニアリング、信越化学工業、新生銀行、ジンダイ、ストアークルーズ、住友金属物流、住友信託銀行、住友生命保険、住友電気工業、住友電設、住友電装、星和ビジネスリンク、ソニー、ソニーコーポレートサービス、ソフトバンク、損害保険ジャパン日本興亜、ダイア建設、第一生命保険、ダイエー、大京、大成建設、太平洋セメント、ダーバン、大同生命保険、ダイハツ工業、大和証券グループ本社、大和ハウス工業、中外製薬、帝国ホテル、電通、東海カーボン、東京海上日動火災保険、東京ガス、東京ダイヤサービス、東京電力、東芝、東芝総合人材開発、東芝プラントシステム、トピー工業、トピー実業、飛鳥建設、ドン・キホーテ、日新火災海上保険、日新製糖、日清製粉グループ本社、日清紡ホールディングス、ニッセイ・リース、日本興亜損害保険、日本生命保険、日本電信電話、日本たばこ産業、日本電気協会、日本航空電子工業、日本山村硝子、ニュー・オータニ、農林中央金庫、農林中金アカデミー、ノザワ、野村證券、阪急電鉄、パレスホテル、東日本旅客鉄道、東日本電信電話、日立アプライアンス、日立オートモティブシステムズ、日立オムロンターミナルソリューションズ、日立化成、日立キャピタル、日立金属、日立建機、日立国際電気、日立システムズ、日立製作所、日立ソリューションズ、日立電線、日立電子サービス、日立ハイテクノロジー、日立パワーソリューションズ、日立ビルシステム、日立プラントテクノロジー、日立物流、日立マクセル、日立メディコ、富士火災海上保険、富士ゼロックス、富士通、富士電機、不動テトラ、マイカル、丸ノ内ホテル、マルハニチロ、丸紅、丸紅情報システムズ、みずほインベスターズ証券、みずほ信託銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三井造船、三越伊勢丹ホールディングス、三菱化学、三菱地所、三菱地所レジデンス、三菱自動車工業、三菱製紙販売、三菱倉庫、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJニコス、三菱マテリアル、三菱UFJ信託銀行、メック・ヒューマンリソース、明治安田生命保険、持田製薬、山崎製パン、ゆうちょ銀行、雪印メグミルク、吉本興業、ラサ商事、リクルート、りそな銀行、レナウン、東京都、大田区、品川区、港区、目黒区、大分県大分市、千葉県佐倉市、千葉県松戸市、千葉県松戸市教育委員会、長野県御代田町、日本郵政グループ、練馬区社会福祉事業団、カトリック新聞社、カトリック中央協議会、浄土宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、神社本庁、世界救世教いつのめ教団、世界救世教主之光教団、全日本仏教会、曹洞宗、天台宗、天理教、東方之光、日本聖公会、本門佛立宗、立正佼成会、朝日新聞社、講談社、産業と経済、産経新聞社、時事通信社、集英社、小学館、星和ビジネスサポート、中央公論社、テレビ朝日、東京新聞、東京メトロポリタンテレビジョン、日本映画衛星放送、日本放送協会、日本放送出版協会、フジテレビジョン、双葉社、文藝春秋、ベネッセコーポレーション、ポニーキャニオン、マガジンハウス ※統廃合などによって掲載されていない組織もあります。(順不同、2016年5月現在)

## 修了生の声 (第29期生)



あおき あけみ  
**青木明美**

株式会社日立システムズ  
人事総務本部ダイバーシティ推進センタ

当初は、このような長期間の研修を受講するのが初めてで、不安でいっぱいでした。しかし様々な人権問題の当事者の方から直接お話を聞く機会を得てからは、こんな貴重な経験は2度と出来ないかもしれないと気がきました。胸がいっぱいになって、目頭が熱くなる経験もしました。覚書用に用意したノートは、徐々にいっぱいになってしまいました。今後は、この研修で学んだことを職場や日常生活の中で活かして行きたいと思えます。きっと!間違いなく貴重な体験が出来ることと思えます。



あさい たかはる  
**浅井孝治**

ストアークルーズ株式会社  
アウトソーシング事業部

偏見や差別が根幹にあることが人権問題だと知りました。自分がいかに無知だったか、自分が何故知ろうとしなかったのか、自分には関係の無いことだと思っていたのではないかと、そんな自分と向き合う時間になると思います。知ることから始めましょう。知ることが出来たら伝えていきましょう。



きもと なおき  
**木本直樹**

吉本興業株式会社  
総務本部総務室

これまで未経験の人権担当になられた方も多くいると思いますが、まずは肩の力を抜いて軽い気持ちで(言い過ぎ?)東京講座を受講しましょう。知識と経験豊富な、強力な講師陣が皆さんの凝り固まってるであろう考えを色とりどりな柔らかい柔軟な考えに変えてくれることは間違いありません。私もそうでした。約3か月、長いと思ってしまったとあっという間です。本講座での経験をそれぞれの組織で活用できるよう頑張ります。私も頑張ります。



くぼ きひろゆき  
**久保木浩之**

株式会社イトーヨーカ堂  
人事部

色々な人権課題に関する知識が増えたことで、何よりも人権の視点、視野が大きく広がったと思います。そして、以前よりやさしくなった?ような感じがします。東京講座での多くの出会いが、皆さんにたくさんの“学び”と“気づき”をもたらしてくれました。そして、東京講座が終了した後、以前とは変わった自分に気づくはずで。皆さん、がんばってください!



しらい ようこ  
**白石陽子**

日本生命保険相互会社  
金融法人契約部 (金融法人事務開発 G)

以前から人権問題には関心がありましたが、まだまだ知らないことがたくさんあると実感しました。講義は面白いものや心痛むものなど様々でしたが、どれも引き込まれる内容で2時間があっという間でした。また、フィールドワークでは、自分の目で見て、人権問題を体感することができました。普段の会社生活では経験することができない大変貴重な機会だと思います。私はこの講座を通し、様々なことを学びましたが、それを自分の中だけに留めておくのではなく、周囲の人達に伝えていきたいと思っています。



にしお かつゆき  
**西尾勝之**

株式会社大林組  
人事部

今までの日常においては知り得なかった差別の分野、また、差別する側とされる側の実態をリアルに学ぶことが出来ました。差別する心は、全ての人々が持っています。この心と向き合い変革を促す為に、差別の実態を知り、その実態に接することは、大変重要な事です。社会人である前に、人間としての人生の転換点になると思います。人権担当に課せられた職務遂行も、ここを基点として始まるのではないのでしょうか。

# 申 込

- ◎**申 込 方 法** 2017年9月15日(金)までに、下記の申込書に必要事項を記入し、部落解放・人権研究所啓発企画部「人権啓発東京講座事務局」まで郵送、FAXまたはメールにてお申し込みください。受講決定通知書と請求書を送付します。(定員になり次第、締切ります)
- ◎**申込み・問合せ先** 一般社団法人 部落解放・人権研究所 啓発企画部 人権啓発東京講座事務局  
〒552-0001 大阪府大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8F  
TEL.06-6581-8576 FAX.06-6581-8540 E-mail tokyo@blhrii.org
- ◎**振 込 先** りそな銀行 桜川支店 普通預金 0487613 一般社団法人 部落解放・人権研究所  
代表理事 奥田均(おくだ ひとし) ※受講料は2017年9月27日(水)までにお振り込みください。
- ◎**講 座 期 間** 2017年9月28日(木)～11月30日(木)までの期間の12日間  
受講生は原則として全講義を受講してください。  
※8割以上の出席とふりかえりシートの提出が修了の要件です。あらかじめご了承ください。  
※班ごとのふりかえりまで必ずご出席ください。

# 会 場



## 一般財団法人 松本治一郎記念会館

中央区入船 1-7-1 TEL.03-6280-3360  
地下鉄日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A2出口より徒歩3分  
地下鉄有楽町線「新富町駅」7番出口より徒歩7分

※会場は講義日程により異なります。詳細は事務局までお問合せください。

※車イスで参加される方や手話通訳等を必要とされる方など、受講にあたって支援が必要な方は、8月25日(金)までに事務局までお知らせください。

----- キリトリ線 -----



## ユートリヤ(すみだ生涯学習センター)本館

墨田区東向島 2-38-7 TEL.03-5247-2001  
東武伊勢崎線、東武亀戸線「曳舟駅」より徒歩5分  
京成押上線「京成曳舟駅」より徒歩5分  
都バス「東向島広小路(すみだ生涯学習センター前)」より徒歩1分

# 受講申込書

フリガナ お名前		勤務先 部署名	
勤務先 所在地	〒 -	e-mail	
		TEL:	FAX:
受講関係 書類 送付先 (上記と異なる場合のみ)	〒 -	e-mail	
		TEL:	FAX:

※正確にお書きください。なお、ご記入いただきました個人情報は、講座の運営上の目的以外には使用いたしません。

※ふりかえりシートのフォーマット等をお送りいたしますので、**個人用(職場・自宅どちらでも可)のメールアドレスを必ず明記下さい。**